

## Sustainable Development in Laos

<b>所属</b>	名古屋市立名東高等学校	<b>実践者</b>	新倉 春美 (L)
<b>対象</b>	国際英語科 3 年の時事英語選択者 8 名	<b>時間数</b>	12 時間
<b>場所</b>	特 LL 教室・展開2教室	<b>実践教科</b>	英語(時事英語)
<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラオスの現状を多角的な視点から理解し、多様な開発課題に気付く。</li> <li>・持続可能な開発を実行していくためのプロセスを考える。</li> <li>・英語でのコミュニケーション能力を伸ばし、論理的に自らの考えを伝える。</li> </ul>		
<b>実践内容</b>	<b>回</b>	<b>プログラム</b>	<b>備考</b>
	0	<b>導入</b> ラオスってどんな国？(教師海外研修の報告・Q&A)	パワーポイント
	1	<b>ゴミ問題</b> ラオスのゴミ処理の方法を知り、その方法を用いている理由を考える。①ラオスに関する TF クイズ②ゴミに関する写真を使ったフォトランゲージ③ゴミ処理の背景を知るための資料を読み学んだことを共有④ラオスのごみ処理の利点と欠点を対比表にまとめる	パワーポイント・写真・ワークシート・模造紙・付箋紙
	2	<b>不発弾</b> 不発弾の脅威とそれに対する取り組みを知り、どのように人々の命を守るのかを考える。①UXO のフィルムを見て感想を共有②UXO-Lao のアニュアルレポートを分担して読み内容を共有③2 種類の UXO 啓発ポスターを見て消されている文言を推測する	パワーポイント・UXO-Lao 提供の不発弾のフィルム、アニュアルレポート、啓発ポスター-2 種(加工済)
	3	<b>医療</b> ラオスの病院の現状を知り、支援者の役割を考える。①病院の写真を使ったフォトランゲージ②ラオスの医療の利点と欠点を対比表にまとめる③自分が JICA ボラだったらという想定で改善策を考える	パワーポイント・模造紙・付箋紙・A4 紙
	4	<b>教育</b> 教育現場に必要なことを整理し、ラオスの教育の改善策を考える。①教育の場をポップコーン形式で出し合う②教育に必要なもの・ことをリスト化する③ラオスの教育の現状を紹介④ラオスの教育をもっと良くするための To-Do リストをつくる	パワーポイント・黒板・模造紙
	5	<b>開発課題の整理</b> ①ラオスの開発課題を KJ 法でまとめる②自分が取り組みたいカテゴリーを決める	模造紙・付箋紙
	6~10	<b>プレゼン準備</b> ビジョンの設定・戦略と行動計画作成 Economy, UXO, Medical Services, Education の4つのグループに分かれ、プレゼン準備を行う	パブリックリソースセンター編『第2版 NPO マネジメント入門』を参照 パワーポイント・ネット環境
	11	<b>プレゼン</b> 戦略と行動計画の発表 4つのグループからプレゼンをし、お互いに評価・質問・コメントをした。	パワーポイント・ワークシート
	12	<b>振り返り</b> 自分たちのプレゼンをビデオで見て授業全体を振り返る。	録画したデータ
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なインプットは押さえた上で、アウトプットの多い授業を展開することができた。</li> <li>・開発課題を整理する段階で「経済」という新たなカテゴリーを生徒が自ら生み出し、ビジョンやアクションを考えることができた。提供された内容だけでなく、新たな課題に気づくことができた。</li> </ul>		
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンの振り返りを行うだけでなく、論理的に自らの考えを伝える力を伸ばすために、生徒が自分たちのプレゼンを改善する機会を設けるべきだった。アウトプットの質にもう少しこだわる。</li> <li>・提供する資料は生徒が扱いやすいようにもう少し加工しておくべきだったかもしれない。</li> </ul>		
<b>備考</b>			

## [ 授業実践の詳細 ]

### 0

#### 時限目「導入：ラオスってどんな国？」

- ◇ 教師海外研修の報告(パワーポイントを使って写真等を見せながら行った。)
  - ラオスの一般的な情報・JICA とは・教師海外研修の目的・訪問地などについて
- ◇ 質疑応答…2学期最初の授業で 20 分ほどの時間を使って実施。

### 1

#### 時限目「ラオスのゴミ問題」

##### 1 子どもの活動の流れ

###### ① ラオスを知ろう(True / False クイズ)

スライドを見ながら、ラオスに関する True/False クイズを行う。  
T/F の答えに応じて教室内を移動する。(全 5 問)

###### ② ラオスのゴミ処理とは？(フォトランゲージ)

ゴミに関する写真を見て、自分の写真の見えている部分を相手に説明する。説明された情報をもとに、どんな場面なのか話し合う。その後、写真の全体像を把握し、話し合った内容を発表する。

###### ③ ラオスのゴミ処理の背景を知ろう(リーディング)

ゴミ処理の背景を知るためのワークシートを分担して読み、学んだことをまとめる。全体でも共有する。

###### ④ ラオスのゴミ処理の利点と欠点は？(対比表)

ラオスのゴミ処理の利点と欠点を対比表にまとめる。また、他のグループの作成した対比表を見て、共感するアイデアにシールを貼る。

##### この時限のねらい

ラオスにおけるゴミ処理の方法を知り、その方法を用いている理由を考える。



T/F クイズの様子

##### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ T/F クイズでは、最初は他の生徒の様子を窺っていた生徒もいたが、最終的には自分の決めた答えを自分で選ぶことに慣れたようだった。
- ◇ フォトランゲージでは、自分の見た写真について相手に伝えるように工夫して話げできた。また、話を聞くだけではイメージしにくい部分もあったようだが、その反面、元の写真を見たときの驚きがあったようである。
- ◇ 対比表を作成する際に利点を考えることが難しかったようだが、必ずしも悪いことばかりではなく、ラオス国内の状況を考慮した上でこのゴミ処理システムがとられているのだと理解していた。なお、出された意見には以下のようなものがあった。

<利点> 少なくとも 1 か所にゴミを集めている・散らかってはいない

・貧しい人がお金を稼ぐのを助けている

<欠点> 燃料を買う余裕がない・場所をとる・臭い・環境問題の原因になる



対比表

### 3 使用した教材

<教材1> True / False クイズのスライド

<教材2> フォトランゲージの写真 <教材3> ワークシート



## 2 時限目「ラオスの不発弾(UXO)」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① UXO とは？ (モデルプレゼンテーション)  
スライドを見て UXO とは何か知る。
- ② UXO はなぜ危険なのか？ (フィルムを見て感想を共有)  
ペアになり、パートナーに以下の質問をする
  - ・フィルムを見てどう思ったか？
  - ・UXO に関する最も深刻な問題は何か？
- ③ 不発弾除去の取り組みを知ろう (リーディング)  
UXO-Lao のアニュアルレポートを分担して読み、内容を共有する。
- ④ 啓発ポスターを完成させよう (フォトランゲージ)  
2 種類の UXO 啓発ポスター (一般用及び子ども用) を見て消されている文言を推測する。グループで話し合っポスターを完成させる。

**この時限のねらい**  
不発弾の脅威とそれに対する取り組みを知り、どのように人々の命を守るのかを考える。

爆弾を見つけても触ったり動かしたりしないでね。



不発弾のありそうな森には入らないでね。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ UXO の啓発フィルムを見て、「ひどい」「命に関わる問題」「農家の人たちや子どもたちの命が守られていない」「戦争が終わっても被害が続いている」といった感想や意見が出た。
- ◇ UXO-Lao のアニュアルレポートは英語が難解であったようだが、お互いに助け合って取り組むことができた。「他人の頭を借りて学ぶ」ということを実践できた。
- ◇ 啓発ポスターの文言を考えるワークでは、UXO の危険性を理解した上で文言を考えることができた。

### 3 使用した教材

- <教材4> UXO の説明をするためのスライド【右図】
- <教材5> UXO の啓発フィルム (UXO-Lao より提供)



<教材6> 2種類の UXO 啓発ポスター (UXO-Lao より提供)

<教材7> UXO Annual Report 2012



UXO-Lao の部分のみを使用

3 時限目「ラオスの医療」

1 子どもの活動の流れ

① 病院の状況を知ろう(フォトランゲージ)

病院の写真を見せて、何をしているのか、どんな場面かペアで話し合う。全体で共有した後解説を聞き事実を確認する。

② ラオスの医療の利点と欠点は？(対比表)

ラオスの医療の利点と欠点を対比表にまとめる。また、他のグループの作成した対比表を見て、共感するアイデアに印をつける。

③ 青年海外協力隊員の役割を考えよう(ロールプレイ)

青年海外協力隊員の福嶋幸さんのスライドを見た後、「自分が JICA の青年海外協力隊員だったら」という想定で病院の改善策を考え、グループで発表する。

2 子どもの活動の成果・反応

◇ フォトランゲージでは、多くの生徒から「(右の写真について)患者が病院の外で自分の順番を待っている。」という意見が出た。「彼らは患者の家族なのだ」と話すと、日本との違いにとっても驚いていた。

◇ ラオスの医療の利点と欠点として、以下のような意見が出た。

- <利点>病院がある・治療を受けられる・医療廃棄物を分別している・患者の家族を歓迎している
- <欠点>入院患者のプライバシーが守られてない・衛生的でない・ランチタイムに看護師がいない
- ・患者が汚いベッドを使わざるを得ない

◇ ロールプレイではラオスの病院の状況を理解して自分の意見を述べることができた。以下のような改善策が出た。

- ・看護師たちがすぐに患者を見に行けるようにランチルームをつくる。
- ・カーテンを準備する。
- ・健康的な病院の食事を紹介したい。患者が健康になり、病気の感染を防ぐことができるので。

この時限のねらい

ラオスの病院の現状を知り、支援者の役割を考える。



対比表

What are they doing?



フォトランゲージの写真

I would prepare the lunch room so that nurses will be able to go and see patients sooner.

もし私が協力隊員だったら・・・

### 3 使用した教材

<教材8> フォトランゲージに使用した写真(複数枚)

<教材9> 青年海外協力隊の福嶋幸さんを紹介するためのスライド(右)



## 4 時限目「ラオスの教育」

### 1 子どもの活動の流れ

① 教育の場とは？(ポップコーン形式)

日本・ラオス問わず、教育活動が行われる場を出し合う。

② 教育には何が必要か？(リストづくり)

「教育活動に必要なもの・こと」をリストにし、日本・ラオスそれぞれの国にあるかないか考える。

③ ラオスの教育とは？(モデルプレゼンテーション)

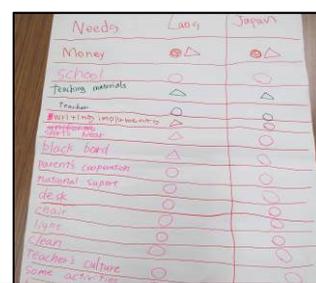
ラオスの教育システム、教員養成大学、地域のスポーツ活動、環境教育の取り組み等について知る。

④ ラオスの教育をもっと良くするには？(To-Do リストづくり)

ラオスの教育をもっと良くするためのアイデアをリストアップする。

#### この時限のねらい

教育現場に必要なことを整理し、ラオスの教育の改善策を考える。



「教育に必要なもの・こと」リスト

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 教育の場を出し合った際、学校以外の学びの場がなかなか出てこなかった。地域社会において教育活動を担っている場(公民館・児童館など)は全く思いつかないようだった。
- ◇ 「教育活動に必要なもの・こと」をリストアップするワークでは、「親の理解」「奨学金」「自然」「休憩時間」「先生の教養」など、人々の意識やシステムの必要性にも気づくことができた。
- ◇ To-Doリストには、「奨学金プログラムをつくる」「親に教育の必要性を伝える」「生徒全員が教科書を持てるようにする」といったアイデアが出された。

#### Education in a community

■ In order to cover sports and cultural activities, educational programs in a community are encouraged.



### 3 使用した教材

<教材10> ラオスの教育について説明するためのスライド(右)

## 5 時限目「ラオスの開発課題を整理しよう」

### 1 子どもの活動の流れ

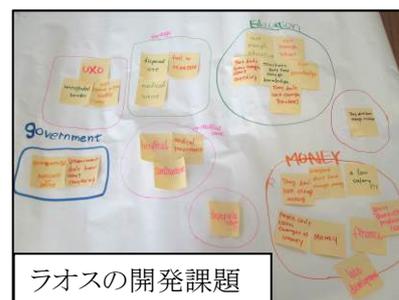
- ① ラオスの開発課題を KJ 法でまとめる。
- ② 自分が取り組みたいカテゴリーを決める。

#### この時限のねらい

これまで学んだことを元にラオスの開発課題を整理し、自分が取り組みたい内容を決める。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ これまでの4回の授業で提示したテーマのみならず、生徒たちからは「政府・経済・資源・知識」などの新しいキーワードが出された。
- ◇ 自分が取り組みたいカテゴリーを発表したところ、経済2名、教育3名、医療1名、UXO2名という4つのグループができた。



ラオスの開発課題

## 6-10 時限目「プレゼンテーション準備」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① ビジョン・戦略・行動計画とは何か理解する。
- ② 「ラオスにおいて持続可能な開発を実現するためにはどうしたら良いか？自分の選んだカテゴリーに基づいてビジョン・戦略・行動計画を考えなさい。」という課題に取り組み、発表のための準備をする。インターネット等を使って調査し、パワーポイントを作成し、プレゼンの原稿を書いた。

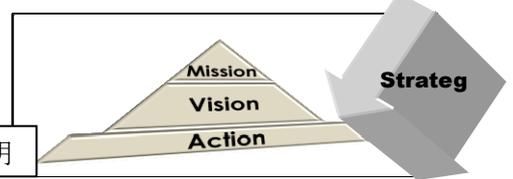
#### この時限のねらい

ビジョン・戦略(Strategy)・行動計画(Action Plan)について理解し、それを使って持続可能な開発のための提案ができるように準備する。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ビジョン・戦略・行動計画の違いを理解すると、自分たちのカテゴリーに応じてどんなことを設定したら良いか積極的に考え、自発的に調査を開始していた。
- ◇ 生徒の社会的経験が少ないことも起因すると思うが、行動計画を実現するための戦略を考えることはどのグループにも少し難しかったようで、「どのようにその取り組みを推進していくのか」という話し合いに多くの時間が費やされた。

ビジョン等の説明



### 3 使用した教材

<教材11> ミッション・戦略・行動計画についてのワークシート



## 11 時限目「プレゼンテーション」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① プレゼンテーションを行う。
- ② 他のグループのプレゼンテーションを見て評価を行い、質問やコメントをする。

#### この時限のねらい

プレゼンテーションを行い、持続可能な開発を実現する方策を提案する。他のグループのプレゼンテーションを聞き、フィードバックをする。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 各グループのプレゼンテーションは以下のような内容であった。
  - ・経済: ハワイを参考にプルメリアの花の栽培を活性化し、観光の目玉にする。また、プルメリアのアロマオイルなどの商品を開発する。
  - ・教育: 先進的な教育活動をするモデル校を全国に4校つくる。将来職業に直結する伝統工芸を導入し、販売もすることで資金調達も行う。教師には隣国タイへの研修の機会を保障する。
  - ・医療: 上下水道のまだ完備されていない地域に「バイオトイレ」を導入し、微生物に排泄物を分解させ、農業に使う仕組みをつくる。
  - ・UXO: UXO 除去をしている団体の情報を伝え、十分な設備を提供するためのファンドレイジングを、市民を巻き込んで行う。

### 3 使用した教材

<教材12> プレゼンテーション評価シート(右)

Group	Presentation: Evaluation	Sustainable Development in Laos
Group 1	1. The contents were understandable and their message was delivered well. 0% 25% 50% 75% 100% 2. Everyone in the group seemed to have made a contribution to the presentation. 3. They analysed the issue appropriately. 4. A mission, vision, action and strategies are set appropriately. 5. They presented their own ideas to make a difference in Laos.	0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100%
Group 2	1. The contents were understandable and their message was delivered well. 0% 25% 50% 75% 100% 2. Everyone in the group seemed to have made a contribution to the presentation. 3. They analysed the issue appropriately. 4. A mission, vision, action and strategies are set appropriately. 5. They presented their own ideas to make a difference in Laos.	0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100%
Group 3	1. The contents were understandable and their message was delivered well. 0% 25% 50% 75% 100% 2. Everyone in the group seemed to have made a contribution to the presentation. 3. They analysed the issue appropriately. 4. A mission, vision, action and strategies are set appropriately. 5. They presented their own ideas to make a difference in Laos.	0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100%
Group 4	1. The contents were understandable and their message was delivered well. 0% 25% 50% 75% 100% 2. Everyone in the group seemed to have made a contribution to the presentation. 3. They analysed the issue appropriately. 4. A mission, vision, action and strategies are set appropriately. 5. They presented their own ideas to make a difference in Laos.	0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100%

## 12 時限目「振り返り」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① プレゼンテーションのフィルムを見る。
- ② プレゼン及びこの授業全体の振り返りを紙に書き、全体で共有。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 話し方やパワーポイントの扱い方などの点で、自分のプレゼンテーションを振り返る良い機会となった。
- ◇ 授業全体を振り返った生徒の感想には、以下のようなものがあった。

- ・自分が団体の一員になったと仮定して世界の問題を解決に導くという授業は初めてなので難しかったです。プレゼンをつくる際に分からないことが次々に出てきて、調べるのも大変で途中でくじけそうでした。
- ・グループで模造紙に付箋を貼る作業が楽しかったです。他のグループとの差を目の当たりにして、悔しい！と思いました。
- ・一年生の頃にラオスの貧困について教わったので、多少知っていて興味もあり、深く調べることができました。また、パワーポイントにも慣れてきていたので自分の中では頑張った作品です。
- ・ラオスには、授業を受ける前には知らなかった問題がいくつかありました。戦争が終わっても不発弾が地面の下に残っている。けがをしても病院に行けない人がいる。病院の設備があまり整っていない。全ての問題が関連していることが、とても興味深いと思いました。

#### この時限のねらい

この授業全体を振り返り、今後  
に活かしていけるものを生徒一  
人ひとりが見つかる。

### 3 使用した教材 <教材13>プレゼンテーションを録画したフィルム

## ■ 全体を通して

### 1 授業の様子

この科目では年間を通してプロジェクト型の授業を行っていたため、生徒の戸惑いも少なく、スムーズに参加型の学習からプロジェクトやプレゼンテーションまでの流れをつくることができた。一方で、生徒の意識が変化するには時間がかかり、最初は「募金をしたら良い」「政府が貧しい人を助けてあげるべきだ」等といった意見が多く、なかなかラオスの現状に即した開発の在り方・支援の在り方を自ら提案するに至らなかった。しかし、自分たちで調査を続け、様々な支援団体や政府の取り組みの存在を知るに従って、クリエイティブな提案ができるようになってきた。プレゼンテーションでは自分たちが考えたアイデアを堂々と述べることができた。



<写真1>グループワーク



<写真2>成果物の共有



<写真3>プレゼンテーション

### 2 参考文献・資料

- 1) WHO ホームページ(医療廃棄物について) [http://www.who.int/topics/medical\\_waste/en/](http://www.who.int/topics/medical_waste/en/)
- 2) パブリックリソースセンター編『第2版 NPO マネジメント入門』